



2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2020年4月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	6,843	2.2	350		348		179	
2019年5月期第3四半期	6,696	4.4	517		518		507	

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 196百万円 (%) 2019年5月期第3四半期 569百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	36.62	
2019年5月期第3四半期	103.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	11,140	5,172	46.2
2019年5月期	9,895	5,036	50.5

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 5,147百万円 2019年5月期 4,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		5.00	5.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,839	22.2	221		220		138		28.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ジーベック

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ジーベックは、2019年6月1日付で当社の連結子会社である株式会社プロダクション・アイジーを存続会社として吸収合併したことにより除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期3Q	5,055,400 株	2019年5月期	5,055,400 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年5月期3Q	148,533 株	2019年5月期	148,510 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期3Q	4,906,888 株	2019年5月期3Q	4,906,958 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用情勢と賃金上昇により、個人消費は緩やかな回復が続いておりました。しかしながら、消費税増税後の消費マインドの悪化、米中貿易摩擦、新型コロナウイルスの感染拡大により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,843,316千円(前年同期比2.2%増)、経常利益は348,189千円(前年同期は518,637千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は179,667千円(前年同期は507,899千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「サイダーのように言葉が湧き上がる」、配信用アニメーション「攻殻機動隊 SAC_2045」、テレビ用アニメーション「ハイキュー!! TO THE TOP」「けだまのゴンじろー」等、その他CM用のアニメーションを制作しました。

映像制作事業では、引き続きCG制作費や外注費の高騰、制作期間の長期化により厳しい状況が続いていますが、納品しました一部の作品について改善がみられました。

以上により、当事業の売上高は4,555,699千円(前年同期比2.9%減)、営業利益は143,199千円(前年同期は531,000千円の営業損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リィンカーネーションの花弁 11巻」「転生貴族の異世界冒険録 3巻」最新巻等、定期月刊誌9点、並びに新刊コミックス・書籍81点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リィンカーネーションの花弁」「転生貴族の異世界冒険録」は、特に販売好調でありました。書店向け出版売上はほぼ前年並みとなっておりますが、電子書籍売上は好調に推移しています。

マンガドア(漫画配信)の売上は増加傾向で損益も改善していますが、現在は先行投資が続いております。

以上により、当事業の売上高は1,081,869千円(前年同期比38.9%増)、営業利益は116,085千円(前年同期比113.4%増)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「進撃の巨人」「サイコパス」「銀河英雄伝説」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

将来の著作権収入を獲得するため大型作品への投資先行となってる一方で、前年同期と比較し映像マスター及びコンテンツ資産の減価償却費が減少しました。

以上により、当事業の売上高は1,025,856千円(前年同期比2.6%減)、営業利益は215,380千円(前年同期比496.5%増)となりました。

④ その他

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品化、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は179,890千円(前年同期比4.7%増)となり、営業損失は36,093千円(前年同期は3,664千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,244,168千円増加し11,140,037千円となりました。主な要因は仕掛品が665,516千円、受取手形及び売掛金が387,124千円、映像マスターが440,486千円増加し、一方、現金及び預金が208,309千円、コンテンツ資産が108,800千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,108,302千円増加し5,968,018千円となりました。主な要因は前受金が998,751千円、買掛金が125,050千円増加し、一方、受注損失引当金が103,469千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ135,865千円増加し5,172,018千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や利益剰余金の配当金の支払いにより利益剰余金が154,671千円増加し、非支配株主持分が18,101千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の業績予想につきましては、2019年7月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。しかしながら、感染症(新型コロナウイルス)の拡大により、従業員やクリエイター、取引会社の社員が在宅勤務での対応や感染した場合、映像制作のすべての工程(プリプロダクション、プロダクション、ポストプロダクション)で遅れが生じる可能性があります。また、アニメーション制作の一部(動画作業)を海外(中国)に発注する場合があります。動画作業を行う企業の従業員の感染により業務遅延の可能性もあります。映像制作の遅れにより納品が納期に間に合わない場合、当社グループの経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,497,237	3,288,928
受取手形及び売掛金	931,816	1,318,940
商品及び製品	124,770	146,899
仕掛品	2,840,281	3,505,797
貯蔵品	7,667	8,746
前渡金	32,400	51,150
その他	139,972	157,820
貸倒引当金	△938	△429
流動資産合計	7,573,206	8,477,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	498,994	474,917
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	241,665	682,151
その他(純額)	102,921	94,144
有形固定資産合計	1,501,743	1,909,375
無形固定資産		
コンテンツ資産	360,459	251,658
その他	39,596	31,946
無形固定資産合計	400,055	283,605
投資その他の資産		
投資有価証券	152,688	172,701
その他	294,092	321,069
貸倒引当金	△25,918	△24,568
投資その他の資産合計	420,863	469,202
固定資産合計	2,322,662	2,662,183
資産合計	9,895,868	11,140,037

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	616,629	741,680
1年内返済予定の長期借入金	47,002	2,805
未払金	502,861	488,531
未払法人税等	8,867	72,962
前受金	2,635,051	3,633,803
預り金	182,356	228,422
賞与引当金	—	47,299
役員賞与引当金	13,641	7,637
株式給付引当金	—	34,452
返品調整引当金	41,023	42,983
受注損失引当金	204,515	101,045
その他	196,419	168,575
流動負債合計	4,448,366	5,570,198
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
株式給付引当金	35,496	—
退職給付に係る負債	51,827	56,254
役員退職慰労引当金	47,989	51,211
その他	76,036	90,355
固定負債合計	411,349	397,820
負債合計	4,859,716	5,968,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,132,016	2,132,016
利益剰余金	2,340,502	2,495,174
自己株式	△258,417	△258,462
株主資本合計	4,995,602	5,150,228
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,106	△2,766
その他の包括利益累計額合計	△2,106	△2,766
非支配株主持分	42,657	24,555
純資産合計	5,036,152	5,172,018
負債純資産合計	9,895,868	11,140,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	6,696,437	6,843,316
売上原価	6,474,611	5,684,665
売上総利益	221,826	1,158,651
返品調整引当金繰入額	—	1,960
返品調整引当金戻入額	9,410	—
差引売上総利益	231,236	1,156,691
販売費及び一般管理費	748,292	806,213
営業利益又は営業損失(△)	△517,056	350,477
営業外収益		
受取利息	177	724
為替差益	3,229	—
受取賃貸料	19,877	17,296
補助金収入	1,517	—
その他	2,674	6,953
営業外収益合計	27,476	24,974
営業外費用		
支払利息	1,252	637
為替差損	—	256
賃貸収入原価	14,642	14,429
知的財産関連費用	9,219	6,910
その他	3,942	5,029
営業外費用合計	29,056	27,263
経常利益又は経常損失(△)	△518,637	348,189
特別損失		
減損損失	3,261	57,101
特別損失合計	3,261	57,101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△521,898	291,088
法人税、住民税及び事業税	50,912	99,204
法人税等調整額	△314	△5,335
法人税等合計	50,598	93,869
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△572,496	197,218
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,597	17,551
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△507,899	179,667

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△572,496	197,218
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,909	△659
その他の包括利益合計	2,909	△659
四半期包括利益	△569,586	196,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△504,989	179,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△64,597	17,551

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,691,978	778,952	1,053,620	6,524,551	171,886	6,696,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,691,978	778,952	1,053,620	6,524,551	171,886	6,696,437
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△531,000	54,398	36,104	△440,496	△3,664	△444,161

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△440,496
「その他」の区分の利益	△3,664
全社費用(注)	△72,895
四半期連結損益計算書の営業損失	△517,056

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失3,261千円を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,555,699	1,081,869	1,025,856	6,663,425	179,890	6,843,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,555,699	1,081,869	1,025,856	6,663,425	179,890	6,843,316
セグメント利益又はセグメント損失(△)	143,199	116,085	215,380	474,666	△36,093	438,572

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	474,666
「その他」の区分の利益	△36,093
全社費用(注)	△88,095
四半期連結損益計算書の営業利益	350,477

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失57,101千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。